

2021～2022 年度



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ

例会日:毎週水曜日 12:30～13:30

例会場:越谷市千間台東インペリアルビル 4 階

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立:1976 年 5 月 11 日

会 長 : 中澤 伸 浩

副 会 長 : 吉澤 晴 雄

幹 事 : 今 井 英 治

会報委員長 : 黒 田 幸 英

第 2216 回 例会記録 No. 17

令和 3 年 12 月 15 日

司会: 市川 洋和 編集: 近藤 慎悟

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「それこそロータリー」
3. ロータリアンの行動規範
4. お客様紹介
株式会社エステーホーム 相談役 白川 好光 様
ソプラノ歌手 声楽家 原田 泉 様
有限会社平総合開発 取締役 平 亜矢子 様
埼玉ベースボールフェスタ IN 越谷実行委員長
埼玉県中体連野球専門部事業部東部代表
越谷市立大袋中学校 教諭 長瀬 翼 様
5. 会長挨拶
6. 幹事報告
7. 雑誌記事紹介
8. お客様挨拶
9. 委員会報告
10. 外部卓話「我が道草人生に悔いはなし」
11. 出席報告

【次回例会案内】 令和 3 年 1 月 13 日
国際ロータリー 第 2770 地区 第 8 グループ
インターシティー・ミーティング(例会変更)

※1 月 12 日(水)の変更となります

越谷コミュニティーセンター 14 時～

会長卓話



中澤 伸浩 会長

皆さん、こんにちは。

さて、本日は、多数のお客様にお越し頂きました。白川様には、本日卓話どうぞよろしくお願ひいたします。原田様は、年明け 1/13(木)の IM にて、オープニングコンサートとして、歌を披露して頂きます。会員一同楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひいたします。そして、長瀬様は中学校の教諭を務められながら、中体連野球専門部の東部代表、そして埼玉ベースボールフェスタ in 越谷の実行委員長も務められ、その情熱と実行力とに心から敬意を表します。当クラブでも、野球ことに少年野球に対しては、熱い情熱を持った会員が多数いらっしゃいますので、是非今後ともお付き合いの程、どうぞよろしくお願ひいたします。締めくくりには、平様です。本日はようこそお越し頂きました。平様には、私は本日初めてお会いしてお話しさせて頂きましたが、これまで深野会員やその他の会員を通じて、平様のお名前を何回も伺っております。当クラブのみならず、第 8 グループ各クラブから、次

越谷北ロータリークラブ

2021-2022 中澤伸浩会長提言 「感謝の気持ちを奉仕につなげよう」
ホームページアドレス <https://koshigayakita-rc.jp/>



世代を担う役割を期待され、例会に招かれるなど引っ張り尻と伺っており、また、例会前に検索させて頂いたところ、越谷青年会議所の直前理事長近藤さんらとともにライオンズクラブの例会にも参加されていました。当クラブにお招きするのが少々遅くなってしまったかもしれないのですが、本日は当クラブの例会を是非リラックスして味わって頂き、また会員とも是非交流を深めて頂き、もしよろしければ平様の今後の選択肢に当クラブも加えさせて頂ければ幸いです。本日は、例会ということで、平様と個別にじっくりお話する時間にも限りがありますので、また日を改めて深野会員と一緒に会食でもしながら、お仕事の話や色々なお話を聞かせて頂けると嬉しいです。私は、職業は弁護士でありますので、弁護士として、今後何らかの平様のお仕事のお役に立てればと思いますので、今後ともお付き合いの程、どうぞよろしくお願いいたします。

男女共同参画、女性の活躍促進ということが国の施策として掲げられてから大分立ちますが、統計資料によれば現在においてもなお日本における女性の管理職は約 8.9%、世界 156 カ国中、日本は 120 位ということで、日本は世界の中で明らかに大きく遅れています。当クラブでも、ここしばらく、女性会員は 3 名という会員数のままで推移しています。

本日は原田様、平様という女性がお越しになったからということではなく、私は、これからの社会には、女性の活躍が必要不可欠だと考えています。男性、女性ということで、その感性や価値観を一括りにすることはできませんが、このコロナ禍においても世界の女性リーダーの取った判断や施策が大きく評価されたように、女性の価値観や判断力が、世界・人類にとって大きな力となることは間違いの無いことだと思います。

平様にも、是非、今後とも社会で活躍されますよう、またもしチャンスがあるならば、是非当クラブの会員として末永く親睦交流させて頂き、当クラブの発展や変

革にお力を貸して頂きたいということで、本日の会長挨拶に代えさせて頂きます。

どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告



今井 英治 幹事

(地区より)

- ・「みらいの扉まっチャンネル 12 月号」が届いております。後ほど、皆様にメール致しますので、ご視聴宜しくお願い致します。

(クラブより)

- ・第 2770 地区第 9 グループ八潮みらいロータリークラブより、10 周年記念式典のご案内が届いております。
- ・ガバナー月信 12 月号を、メール BOX に配布致しましたので、お帰りの際にお持ち帰りお願い致します。
- ・埼玉ベースボールフェスタ in 越谷実行委員長長瀬先生よりクラブにお礼状を頂きました。保護者同伴を含め 968 名の参加 また、アンケートでは、ご来場者の方から 97.9%の満足度を頂いたそうです。今後のご活躍をお祈りいたします。
- ・12/8 日の例会終了後に、中澤会長、吉澤部門長、川島委員長、幹事今井の 4 人で、越谷市立富士中学校に訪問し、全国野球大会出場のお祝いをお渡ししてきましたので、ご報告させて頂きます。本日の幹事報告は、以上になります。



雑誌記事紹介



伊藤 純 会員

『PRESIDENT'S MESSAGE (RI 会長メッセージ)』

(引用:ロータリーの友 12月号より)

●親愛なるチェンジメーカーの皆さん

新型コロナの世界的なパンデミックによって今もなお人々の命が危険にさらされているこの状況下において、公衆衛生は人々の関心事です。マスクを着用しソーシャルディスタンスを保つようになった今、人々は医療従事者の役割や責務について以前よりも詳しく知るようになりました。そして、パンデミックと闘う中、他の人の安全を守るために自分たちに何ができるのか、ということについても学びました。

12月 は 疾 病 予 防 と 治 療 月 間 で す。 残 念 な こ と に こ の た び の パ ン デ ミ ッ ク で、 私 た ち は 疾 病 が 地 域 社 会 に も た ら す 打 撃 を 知 る こ と に な り ま し た。 し か し、 疾 病 と の 闘 い は 世 界 中 の ロ ー タ リ ア ン が 何 十 年 も 前 か ら 尽 力 し て き た こ と で あり、 ロ ー タ リ ー の 7 つ の 重 点 分 野 の 一 つ で も あり ます。

ロータリアンは、健康と幸せは人の権利だと信じています。それなのに、世界中で4億人の人々が基本的な医療サービスを受けられない状況にあります。私たちは医療体制の整っていない地域での診療所や眼科病院、血液バンクを設立する活動を行っています。これらは全て、恵まれない人々が最も被害を受けやすい感染症流行を止めるために重要なのは医療へのアクセス、予防、そして啓発活動であるという信念に根差しての行動です。

私が医療活動に触れたのは、コルカタ・マハナガル・ロータリークラブに入会してからのことです。中でも印象的なのは、Saving Little Heartsの立ち上げでした。この組織は今や国際的なプログラムとなりこれまで2,500件を超える心臓手術をインドやパキスタン、バングラデシュ、ネパール、アフリカの子どもたちに無料で施してきていますが、当初の目標は地元でわずか6件の手術を行うことでした。今日では、今後5年間で2万件の手術をするのが目標となるほどに成長しています。

こういった課題に取り組み、世界に模範を示すのがロータリーの役目です。世界中のロータリアンはファミリーヘルスデーを開催し、ここ10年間で医療従事者や政府職員が10カ国で250万人の人々に無料で診察を提供してきました。同様のヘルスキャンプ(無料巡回診療)がインドでも行われ、何千人もの恵まれない人々に無料で手術を提供してきました。これらの国や地域へと毎年派遣される医師団は、疾病予防と治療における実地的な奉仕活動の好例です。また、地元でできる活動もあります。例えば、アメリカとメキシコのクラブはメキシコの小さな町ゲレロで無料診察クリニックを設立、運営する資金を提供しています。

もちろん、ポリオ根絶活動は市民社会の医療ケアにおける最たる例でしょう。

今月は、ぜひ疾病の予防と闘いに重点を置いてクラブに何ができるか考えてみてください。より多くの人々に変化をもたらすために、今こそ、クラブと地区はこれまで以上に大規模で大胆なアプローチを採用すべきです。目標達成に向けて現状を再確認しましょう。数ヶ月で終わるのではなく何年にもわたって変化し続けるような戦略を立てましょう。

誰もが健康で長生きする権利があります。みんなの人生を豊かにするために奉仕すれば、今日のあなたの行いが他の誰かが長生きすることにつながるのです。(2021-22年度 RI 会長シェカール・メータ)



お客様挨拶



ソプラノ歌手 声楽家 原田 泉 様

皆様はじめまして。声楽家の原田泉です。どうぞよろしくお願ひいたします。鈴木さんからご紹介頂きましたが、私は春日部のロータリークラブの方に応援を頂いて色々な方の会合で歌う機会を頂いておりました。その中で鈴木英男さんとお会いし、つい先日開催された天下一うどん味わい亭のディナーショーで歌わせて頂きました。

私の父はもう亡くなりましたが、鹿児島県の中の鹿児島市内のロータリークラブの会長をしておりました。鹿児島は韓国に近いですので、韓国の釜山とも交流がありまして、当時ヒュンダイの会長の時に使節団として呼んでいただき、大きな会場で歌わせて頂けるという機会を得られました。

私の夫も声楽家で、今は大学教授をしておりますが長野の出身で長野ロータリークラブに留学させて頂いたこともありロータリークラブには頭があがりません。本当に紳士にして頂きました。

ですから、今回このような形で越谷北ロータリークラブの方々のご縁ができたということに心から感謝したいと思いますし、1月のイベントに呼ばれたことも大変光栄なことに感じています。

音楽を通じて皆様と心の交流ができればと感じておりますので、どうぞこれをご縁に新年のイベントで皆様ともっと深く絆を結ぶことを祈念してご挨拶に代えさせて頂きたいと思ひます。



有限会社平総合開発 取締役 平 亜矢子 様

皆様こんにちは。下間久里で不動産関連の仕事させて頂いております。皆様のご縁を結べる事を本当にありがたく思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。



埼玉ベースボールフェスタ IN 越谷実行委員長
埼玉県中体連野球専門部事業部東部代表
越谷市立大袋中学校 教諭 長瀬 翼 様

みなさんこんにちは。12月5日に埼玉ベースボールフェスタを行わせて頂きました。野球未経験者の子たちに野球の魅力を伝えるイベントを行わせて頂きました。特に越谷北ロータリークラブ様には多大なるご支援を頂きまして、本当に充実したイベントになりましたので感謝を申し上げます。ありがとうございます。

夏にジュニア甲子園野球大会という中学校の野球大会を越谷北ロータリークラブ様にご支援して頂きまして、そこで深野さんにご縁を頂きましてこのような形でご支援を頂いている所存です。

今回中学校野球顧問会としては「野球人口減少をなんとか食い止めたい」ということでこのようなイベントを開催させて頂きました。今回のイベントは沢山の方に参加頂きましたが私たちの取組としてはあくまで



っかけということになります。今年の 11 月に小学校・中学校・高校・大学の越谷市野球チームの指導者が集まり、「野球人口増加に向けてどうしていこう」という会議を何度か行わせて頂いております。2022 年 1~3 月にはベースボールパークとして学校の校庭を開放して、皆で野球をやろうというイベントをやります。

また、小中高大の指導者交流会では「野球の街にしよう～野球の街越谷プロジェクト～」を水面下で進めております。今後ご縁があると思います。これからもよろしくお願ひします。

委員会報告

会員増強維持委員会 深野 秀樹 委員長

先日お越しいただいた大塚具視さんの入会申込書を頂きました。晴れて年明けには会員となると思いますので、よろしくお願ひします。引き続き皆様のご紹介をお待ちしておりますのでよろしくお願ひします。

会員組織部門 大熊 正行 委員長

例会終了後、会員組織部門・クラブ活性化委員会・会員増強維持委員会合同の委員会を開催致します。13:45 から開始しますので、ご用とお急ぎでない方はご参加お願ひ致します。

外部卓話



株式会社エステーホーム 相談役 白川 好光 様

『我が道草人生に悔いはなし』(著者:白川好光様より)
・令和元年 北野生涯教育振興会「3 席」受賞作

私は「後悔」という言葉が嫌いです。そんな思いで七十三年間、生きてきました。不倫の子として産まれた私は、七人の「育ての」父や母のもとで養育されました。脊椎カリエスの障害を抱えた私を育ててくれたそんな七人の父母への感謝を忘れたことはありませんが、過去を振り返ることはできるだけしないように今日まで生きてきました。

思えば私の人生の中で、今がいちばん充実している気がします。初老にして青春時代を迎えたような気持ちです。

昨年の春、埼玉県立吉川美南高等学校の夜間定時制を卒業し、今は放送大学で心理学を学んでいます。過去にできなかった勉強が今できる喜びは大きなもので、いつもワクワクしながら授業に臨んでいます。

周りからは、棺桶に片足入れたような年齢になって勉強してももう遅い、長続きはしないだろうと言われながらも、夜間高校を四年間、無遅刻無欠席で通し、皆勤賞をいただきました。人生をぐるりと遠回りしたような、長い道草だったかもしれませんが、念願の高校卒業を果たし、大満足でもありました。

中学校卒業時、高校進学は諦めて社会に出た私でしたが、五年前、六十八歳のとき、孫の高校受験への勉強姿に刺激され、長年叶えられなかった高校進学への夢の実現に挑戦したのです。入学式の会場では、若い生徒たちと一緒に入場する年老いた私に周りの目が集中して、すこしばかり恥ずかしい思いもしました。

しかし高校の教室で、五十三年ぶりに生徒たちと机を並べて勉強できたことは、私の脳の活性化だけでなく、大きな財産にもなりました。

初めは、漢字や作文を学ばばよいという軽い気持ちでいましたが、授業についていくのは大変なことでした。数学の分数計算も化学の元素記号もなかなか覚えられず、一学期が終わるころには覚えられるだろうといった安易な考えも、二学期になって化学反応式



の計算が始まると吹き飛びました。これではだめだと思ひ、息子の年代の先生から補修していただいて必死に勉強した結果、数学や化学式だけでなく、国語や社会の成績も上がり、これが学校の学びだと実感しました。体育の授業では、十代の生徒たちと四年間一緒に身体を動かし、健康になりました。お陰様で卒業式では優秀賞の賞状をいただくことができ、生まれて初めて貰う賞状には大感動でした。

過去を振り返ることは嫌いですが、今の私を知っていただくために、私の前半生を少しお話することにします。

少年時代に住んでいたおんぼろ家は、冬の吹雪の日には家の中まで雪が入り込んできて寒かったことを忘れられません。藁ふとんを頭までかぶって寝ていました。障害があったため、中学までは身体が弱く、時には仲間たちからいじめられ、大人にまで馬鹿にされました。学校の成績も悪く、人目を避けてうつむきがちになり、孤独でひねくれた時期もありました。私の関心は自然と学校の外に向かい、朝の草刈り、ヤクルト配達、新聞配達、リヤカーでの魚行商など、学校の勉強より働くことに楽しみを見出した少年時代でした。

でも私には夢がありました。好きな大工職人になって自分の手で家を建てることです。養子として育ててくれた両親への恩返しに家を建ててやろうと決意し、中学卒業後、すぐに大工の修行に入りました。まだ体も貧弱でしたが、信念と熱意があったので、辛い修行にも耐えることができました。このときの経験で忍耐力が身体に植え付けられ、その後の人生においても私を支えてくれる土台となりました。

棟梁に怒られ、兄弟子からは厳しく叱られ、時には材木まで投げつけられることもあった厳しい修行でした。真冬の寒い時は冷たいバケツに氷が張っていましたが、その冷たい水で鉋研ぎや鋸研ぎをしました。霜焼けで指から血がにじむのは当たり前でも、一日も早く一人前の職人になろうと一生懸命働きました。朝

の七時半の電車で同級生たちがカバンを持って高校へ通学する姿を見かけると、羨ましくて羨ましくて涙が出ました。いつかは高校だけは卒業しようと、ひそかに胸の底に刻み付けたものでしたが、家の貧しさを知っていたので、諦めざるを得ませんでした。

今考えると、あのとき高校に進学しなかったからこそ、この年で高校、大学で学ぶという遠回りの道草の楽しさを知ることができたように思います。

秋田での五年間の修行を終えて、兄弟子を頼りに東京へ上京したのは二十歳の冬でした。夜行列車・津軽二号に揺られて早朝の上野駅へ降り立ったときは、大都会に出てきたという緊張で体が震えたことを覚えています。貧乏生活を抜け出しこの都会で一旗揚げてやるんだと、未来への闘志が燃えたものでした。

しかしそれは簡単なことではありませんでした。アパートの親方の部屋に住み込み生活をする事になり、部屋の入口の一帖の土間に布団を敷いて寝起きする日々が始まりました。朝、弁当を持って六時にアパートを出て現場まで自転車で一時間かけて通い、毎日夜の九時まで残業の生活が続きました。帰りは空腹のあまり、ポケットに入れたブドウパンをかじりながら自転車のペダルをこいだものです。なんでこんなに苦勞するのかと涙が出ました。

住み込みで働いて三万八千円の給料のうち、三万円を定期預金に積んで残り八千円で生活しました。なんの楽しみもなく、ただただ働くことだけでした。いちばん寂しかったのは友達が一人もいないことで、いやというほど孤独感を味わいました。

そんな生活を我慢して何年か続けたあと、育ててくれた秋田の両親に家を建ててやろうと、久しぶりに故郷に帰ったときの事です。二十三歳でした。いつも消極的で引っ込み思案だった私のところに、集落の若者たちが来てくれたのです。祭りの夜だったと思いますが、私は長い孤独の世界から抜け出したように感じ、うれしさの余り心も踊り、とめどなく話をしました。



私の繰り出す東京での苦労話と失敗談にみんなは大いに笑ってくれました。その瞬間、私は人と関わることの楽しさを悟ったのです。豚もおだてりゃ木に昇るの勢いで話し込む私に、「お前は変わったね」と言われ、自分自身、驚いたものです。百八十度の性格大転換でした。性格は変えられることも、このとき知りました。人と関わることの楽しさと喜びを知り、性格に積極性が生まれた田舎での出来事でした。

家の新築は、運勢の悪い中でも一生懸命育ててくれた両親への感謝の気持ちからでした。両親といっても育ての父は戸籍上の長男でした。そして育ての第二の母は長男の妹でした。離婚して出戻ってから育ての母になってくれたのです。私はその二人のもとに養子として貰われ、戸籍上の八男でした。ですから長男とその妹が養子として来た八男の私を育ててくれたわけで、その恩返しが新築の家のプレゼントでした。

上棟式の当日、酒に酔う父の姿を初めて見ました。貰われてきた子供が建ててくれた家に集落の人々が集まってくれたことは、どんなにうれしかったことでしょう。喜びの酒だったことでしょう。父が酒に酔う姿を見たのは、このときが最初で最後でした。

本来であれば、養子とはいえ一人っ子だった私は地元に残るのがふつうだったかもしれません。しかし私は六万円を持って再び上京しました。ところが私の戻った職場には、私の座る席は残されていませんでした。仲間たちの「独立しろよ」という言葉に励まされながら、私は独立を決意しました。

私の独立起業は、四畳半一間から始まりました。部屋には小さな流し台があるだけ、トイレは廊下の奥に共同トイレで、風呂は銭湯でした。朝六時に起きて弁当を作り、昼間、仕事の合間に夕食用の買い物を済ませ、夜遅くまで一生懸命働きました。無我夢中でした。週末に来て掃除や食事を用意してくれた女性が今の妻です。

その後仕事も順調で最初の弟子もと、会社も次第

に大きくなっていきました。ところが建築を請け負っていた親会社が倒産してしまいます。私が三十歳の春のことでした。建売三棟分の不渡り手形の回収額は二千四百万円。私は途方にくれました。巷では関連倒産のうわさも出ましたが、「田舎から六万円持って出てきた原点を忘れないで」という妻の一言で、一度は死も考えましたが、なんとか思い止まり、また一からやり直す気持ちになれました。周りの人々も応援してくれました。

このピンチは私に逆転の発想を与えてくれました。「土地から家づくり」を看板に不動産免許を取り建築会社と不動産会社の二足の草鞋を履いての経営で、これがうまくいったのです。人生は思うとおりに進まないものですが、忍耐と努力があれば必ず運勢はめぐってくるものだと感じました。

そんな私の紆余曲折の人生経験が認められたのか、四十歳も過ぎたころから青少年指導の相談を受けるようになってきました。不登校の生徒、高校中退の子供、ニートの青年たちへの生活指導や相談です。もし私は中学から高校、そして大学へと順調な道を歩んでいたとしたら、今の私は存在していなかったでしょう。若者たちの相談もできなかったでしょう。

人は生まれた環境によって、その後の人生も大きく左右されます。しかし努力によってマイナスの環境もプラスに変えることはできます。幾たびも訪れる人生の岐路での選択が明暗を分けることになるのでしょう。私の歩いてきた道のりは真っ直ぐではありませんでした。思えば随分と道草をしてきたものだと思います。小さな道草を繰り返し、ここまで来るにはいくつもの岐路で立ち止まり、そのたびに進むべき方向を見定めて歩いてきました。ときには大きな岩の前で立ち止まったり、小石につまずきながらの遠回りの道草人生でしたが、悔いはありません。





白川様には、著書「我が道草人生に悔いはなし」から一部を抜粋して卓話して頂きました。本来は 2~3 時間の講演内容を 30 分にまとめて頂きました。ありがとうございました。

・本日例会宜しくお祈いします。

中村 隆雄

・今年も残り少なくなりました。一年間お世話になりました。

太田 靖彦

出席報告

会員数	43 名
出席者	32 名
出席率	80.0 %

スマイル報告

・白川様本日卓話どうぞよろしくお祈いします。原田様、平様、長瀬様ようこそお越し頂きました。またお会いしましょう。

中澤 伸浩

・お客様ようこそ！本日は楽しんでいって下さい。宜しくお願いします。

今井 英治

・白川好光様、本日卓話よろしくお祈い致します。原田泉様、IM でのオープニングコンサートよろしくお祈い致します。お客様いらっしやいませ。

鈴木 英男

・白川様、本日卓話よろしくお祈い致します。原田様、平様、長瀬様ようこそ。本日宜しくお祈いします。

堀野 眞孝 関森 初義 松崎 義一

大熊 正行 須賀 篤史 深野 秀樹

・申し訳ございません。本日早退致します。

小宮山 大介

・本日宜しくお祈いします。

松井 昭夫



白川好光様の著書『人生の教科書』

サイン入りの書籍を当クラブ会員に配布して頂きました。その他白川様の著書も参考として例会場に飾ってありました。

